

【講座名】	講座Ⅲ「それぞれの学びの場での教科指導における実践報告」③
【講師】	<p style="text-align: center;">県立日南くろしお支援学校 教諭 鈴木 剛 延岡市立北方学園 教諭 若松 志帆 宮崎大学教育学部附属中学校 教諭 水谷 泰</p>
講座の様子	<p>1 実践報告内容 「相手に伝わる声と言葉で自分の意思を伝えることができる生徒の育成」 宮崎大学教育学部附属中学校 教諭 水谷 泰</p> <p>(1) 講座内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海外の特別支援教育について <ul style="list-style-type: none"> <オーストラリア> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルージョン教育の推進→基本的に一斉学習 ・特別支援教室→個別指導教室 (個別の計画に基づいて個別指導を受けた後通常教室に戻る) ・サポートペアレント (保護者ボランティア) の活用 ・「ゴーアウト」制度のルール (クールダウンの実施許可) <オランダ> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた教育の充実 →学校選択の自由 (教育の無償化)、留年補償 (再度学び直したい子への配慮) ・自己責任の社会 →自分で伝えることの必要性 (プレゼン、ドラマの授業など自己表現の場の設定) ・自立と共同のための基礎学習の仕方を教え、できるようになるまで援助する →すべての教育、社会において特別支援教育の考え、合理的配慮の形成が定着している。 ○ 国語の授業での合理的配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・社会性の実践練習としての国語教育 →あいさつ、返事、意思表示、会話などコミュニケーションの練習 ・国語の時間における実践 ○ 聞き取りやすい声で話す練習 (発音、発声練習) <ul style="list-style-type: none"> ・正しく読めるようになるための練習 (速読、ビジョントレーニング) ・話題を広げて話すための練習 (会話スキル、さいころやカードでのスピーチ) <p>2 感想 海外の事情などを知ることができ、大変勉強になった。表現力の重要性を改めて感じた。</p>

